

ティブルット・サロテ研究員（タイ）



サワディーカー！こんにちは！私はタイから来ましたサロテと申します。私の母国のタイでは、2013年から内務省防災局（DDPM）で土木技師として働いています。

DDPMは、タイ国において防災分野の活動を実施する主たる政府機関として位置づけられています。DDPMの主な活動は、国内外の関係機関と連携して、災害時、災害前の予防などの全ての局面において防災活動の推進を行うことです。また、実際の災害時において、被災された方々を支援する活動も行っています。そして、被災地の早期復旧を目指した被災地再興のための活動、移住計画対応、被害を受けたインフラの修復などにも対応しています。

先ほども申し上げましたが、私はこれまで土木技師として10年間関連業務に従事してきました。過去には、緊急対応に関する訓練等にも参加経験があり、現在では地理情報システム（GIS）を用いた地図作成から、災害被害の減少や対策等の業務にも担当しています。これまでこのような防災に係る多くの分野で長年活動できたことを、今では大変嬉しく思います。

ADRCの客員研究員としては、2017年の1月から4月まで着任しています。私の研究テーマとしましては、日本が持っている経験を学び、GISやリモートセンシング技術を用いてタイでの防災分野に利活用できるような研究をしたいと思います。たとえば、衛星画像や地図を防災分野に役立てるセンチネルアジアはまさにテーマになると思います。

最後になりますが、今回客員研究員としての機会を頂いたこと、また、日本における先進的防災活動について学べる機会を頂いたことにつきまして、タイ政府とADRCの皆様へ感謝を申し上げます。